TUシリーズ
取扱説明書補足

歯科用ユニット シグノシリーズ
残留水排出（フラッシング）について

J.MORITA TOKYO MFG.CORP.　　TU扱補FLU０１．　15.8.　ＴＯ

⚠注意
当社製歯科用ユニットの取扱説明書に記載の「残留水排出の手順」を抜粋しています。
取説本誌と合わせてご覧のうえ、正しく残留水排出を励行して下さい。
●歯科用ユニットのウォーマータンクやチューブ内には一定量の給水が残留しており、長時間内部で放置されることにより水質が低下するため、使用前に排出しておく必要があります。

◆残留水の排出 <フラッシング>

１日１回診療開始前に、各給水回路から本体内部の残留水を排出します。詳細手順はご利用の機種に付属の取扱説明書を参照下さい。

（１） フラッシング装置★による残留水自動排出

フラッシング装置を搭載している場合は、各給水回路から残留水の自動排出が可能です。
ベースン鉢にフラッシングボウルをセットし、各メインチューブをボウル内に接続します。 この状態でスタートスイッチを押すと自動で適切な残留水排出が行われます。

＜ TU110 の例＞

＜ TU110 の例＞

（２） 手動による残留水排出

フラッシング装置★を装備していない場合は、以下の手順で各給水回路の残留水排出を行います。

作業は、 必ず以下の①から順に行って下さい。 順に従わないと、排出効率が低下します。

各給水回路の排出所要時間（目安）	
給水回路	時間
給水装置（オートフィラー）	1分
スリーウェイシリンジ注水	
エアータービン注水	
マイクロモーター注水	2分
超音波スケーラー注水	3分

①オートフィラーの残留水排出

コップをセットして給水を行い、停止したらコップ内の水を捨て再度給水を行います。 ８回以上くりかえして下さい。

＜ TU110 の例＞

②スリーウェイシリンジ回路の残留水排出

術者側、アシスタント側を同時に行います。
レバーを押して水を１分間以上噴出し続けて下さい。

③エアータービン回路の残留水排出
④マイクロモーター回路の残留水排出
⑤超音波スケーラー★回路の残留水排出

各ハンドピースをホルダーから取り上げ、注水切替をＯＮに合わせて規定時間の水を噴出させます。

<エアータービンの例>

★：オプション